



### 理念

- 1、乳幼児期の子どもの最善の利益を守る保育園
- 2、親・地域の多様な子育ての要求を受け止め、  
助ける保育園
- 3、すべての子どもたちが健やかに育ち、すべての  
ものの生命を大切に、平和な社会をめざす保育園

### めざす子ども像

- 1、心身ともに健康な子ども
- 2、自分の要求を持ち、豊かに表現し  
実現しようとする子ども
- 3、自分を大切に、仲間を大切にする子ども

### 保育目標

- 1、子どもの人格を尊重し、子どもの一人ひとりの発達を援助する
- 2、保護者と子育てを共同する保育園の社会的役割を果たす
- 3、保育園の社会的役割を果たす

人は気づくことが大事だ  
教えられて覚えることと  
そうか と自分で気づいて  
わかったことは ぜんぜんちがう

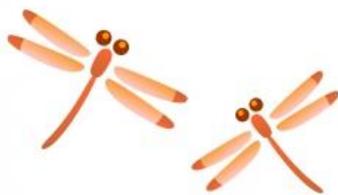
教えられておぼえたことは 頭で覚えたこと  
気づいてわかったことは 体験を通して身についたこと  
頭で覚えることは知識

気づいて身についたことは  
自分を動かしてくれる力だ  
生きる自分を助けてくれる力だ

「こころにつよく

ひびいたから」著

阿部ヤエ 詩集より



玄関先にある鈴虫の鳴き声も弱くなり、暑さも和らぎ夏の終わりを感じます。プール遊びの際、監視をつけることが義務付けられるようになって、夏の期間幼児クラスのプール遊びの監視役として子どもたちの姿を見てきました。5分おきに人数を確認しながら、さすが5歳児と思った場面を紹介します。

自由時間に一人の子が「競争しよう」と呼びかけると5、6人が集まり「じゃあ、じゃんけんね」とグループ分けや順番を決めていました。「どんなふうにするの」という声に対し「なんでもいいから」と泳ぎ方は自由というり決めて始まりました。プールの端から端をそれぞれの泳ぎ方？で往復し次の人にタッチし競争することを楽しんでいました。プール遊びを通して大人のルールや指示ではなく、自分たちで考え工夫し、友達とかかわり仲間意識が育っていると感じました。

先日、保育園のOBの方から、現在3年生だがクラスは違っても小鳥の森の子どもたちは、学童でいつも一緒だという話を聞きました。保育園で過ごした時間が子どもたちにとっては、安心感につながっているのかなと思いました。

園長 岡本 友子

## 9月の予定

月	火	水	木	金	土	日
2 実習生開始 18日まで	3 産前産後相談	4	5	6 プラネタリウム鑑賞 (4, 5才)	7	8
9	10 体験保育	11	12 健康診断	13 キンモクセイの会	14	15
16	17 産前産後相談	18	19 身体測定	20	21 地域講座	22
23 30	24 体験保育 わらべうた	25	26	27 「げんき」学習会	28	29

- 6日(金) 4、5才児 プラネタリウム鑑賞 (他のクラスもカメラマンの撮影があります)
- 10日(火) 体験保育 看護師の話し・園児と一緒に遊びましょう
- 13日(水) キンモクセイの会(5歳児の祖父母の方を招待します)
- 17日(火) 産前産後相談 栄養士の話し・離乳食相談 (試食代 200円)
- 21日(土) 地域講座「絵本の話し」(在園児の方の参加希望の方は事務室で予約してください)
- 24日(火) 体験保育「わらべうたであそぼう」  
加藤先生が各クラス廻ってわらべうたの指導があります。
- 27日(金) 「げんき」出前型学習会 17:00~18:00 支援室にて

※10月の予定変更のお知らせ・・・16日(水) 予行演習 17日(木)身体測定 になります。



## お知らせ

\*10月から幼児の保育料無償化について世田谷区からのお知らせを先日お配りしました。今後、給食費等を保育園が徴収するにあたり説明会を行います。日程が決まり次第お知らせしますので参加してください。

## 「小学校に関わる方々のお話を聞く会」

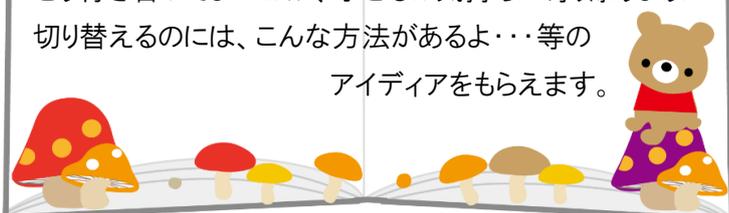
毎年、保育ネット烏山地域で近隣の小学校の校長先生をお呼びしてお話しをして頂いていますが、今年は烏山児童館の秀村 聡児童館長のお話があります。ご希望の方は9月6日まで事務室にお申込み下さい

日時 9月19日(木) 16:30~17:30

場所 なごみ保育園 (北烏山 3-11-6)

## げんき主催の学習会があります。

参加希望の方は、担任までお知らせください。  
発達のことや心配がある人もない人も、子どものこだわりや  
どう付き合えばいいのか、子どもの気持ちに寄り添うように  
切り替えるのには、こんな方法があるよ・・・等の  
アイデアをもらえます。



9月4日(水) 午後より  
門扉の暗証番号を変更します。  
番号はクラスの担当に聞いて下さい。

実習生が入ります

9月2日~18日

日本女子体育大学より



# 研修報告



文学（お話し）の研修に参加しました。

「文学」というと覚えなくちゃいけない…という思いから苦手な分野でしたが「原文を見ながらでもやってあげるのが子ども達にとって幸せなこと」という一言で気持ちが楽になりました。そして、導入としてお話しに出てくる扮装をしたり、道具を用意しているうちに一人、二人集まってきたら初めても良いということも衝撃的でした。そして、子ども達に話をする前にそのお話し分析をすることで、自分なりの感情の表現ができるようになること、お話しをした後に遊びにつなげることで記憶や知識に繋がっていくこと、それらのことを実践しながらたくさんの事を学びました。

そして、先日の夕方、数人の子どもを誘って「木にとり とまった」のお話しの後に遊びにつなげました。やっているうちに、たかの子が数人仲間に入ってきました。円になって鳥の名前を言い順番に回っていく遊びなのですが、途中でたかの子が輪から抜けては戻ってくるので「なんで抜けたり入ったりするんだろう？」と思っていたら「鳥の図鑑」を見ては帰って来ていたのです。他の人と違う鳥の名前を言いたいという欲求と知恵があることに感心しました。今回の研修で学んだ「遊びの中でしたことが記憶と知識となること」が実感できたエピソードでした。これからも幼児の担当と一緒に遊びの中で子どもたちに刺激やきっかけを与えていける大人の一人でありたいと思いました。



## ある日のエピソードより・・・



入園してから4ヶ月が過ぎ、ひよこ組の子どもたちの遊ぶ姿や友達への興味が育っています。わらべうたに親しみを持ち、うたに合わせて遊ぶ姿も多くなりました。「だるまさん」のうたが好きな子が多く、フープを持ち「あっぷっぷー」とフープから顔をのぞかせるしぐさをしたり、フープを床にトントンと打ちつけて「うたってほしい」とアピールする姿もあります。

ある日の出来事です。

クラスの中で一番低月齢のHちゃんがお座りができるようになり横になって見ていた景色とはまた違い、友達と一緒に視線で遊べる事で色々な遊具に興味津々な様子です。そこでHちゃんにフープを渡してみると両手に持ち少し見つめてから顔の前に持ち顔をのぞかせるしぐさをしました。その姿を見て「だるまさん」をイメージしている！、と思わずにうたってみると嬉しそうにフープを揺らしてまた顔をのぞかせました。周りでその姿を見ていた子ども達もそれぞれフープを取りに行きみんなで「あっぷっぷー」をしました。Hちゃんは友達と一緒に楽しさを共感できたことでとても嬉しそうでした。今まで友達がやっている姿を見ていたのでしょう。すぐに模倣している姿に感動した瞬間でした。その翌日にS君がフープを持ちHちゃんの近くに行くとHちゃんが手を広げて「ちょうだい」のポーズをしていました。S君は前日のHちゃんが遊んでいたことを思い出したのかな…、また一緒に遊びたいと思ったのかな…。小さいながらもお友達存在を意識しながら、少しずつ仲間意識も芽生え始め、一緒に共感しながら楽しむ心も育ってきていると感じました。



あひる組の進級から早5ヶ月が過ぎ、半数以上の子が3歳の誕生日を迎えました。

お誕生会をした日にこんな事がありました。室内でAくんBくんが線路を大きくつなげて電車を走らせて遊んでいました。そこへ、Cちゃんが近づき「Cも電車やりたい」と言うとAくん「いいよ〜」Bくん「ぶつかっちゃうからダメだよ」とそれぞれ自分の思いを言葉にしてCちゃんに伝えていました。CちゃんはAくんの線路近くで電車を並べ始めました。しばらくして、CちゃんはBくんの近くの線路に行きたくなり、Bくんに「いれてー」と伝えるとBくんは「ダメだよ。」と言った。するとCちゃんは「もう3才なんだから使っても良いんだよって言うんだよ」とちょっと力強い表情で伝え、しばらく、Bくんは動きを止めてからCちゃんに「この分岐点には触らないでね。」と伝える。Cちゃんが「ここは良い？」と聞くとBくんは「良いよ〜」とそこから打ち解けた様子でBくんが「ここでまつんだよね」と言ったり「ピッピッピー」と電車を後ろに下げたりして譲り合いながら仲良く遊んでいました。あひる組ではよくある遊びの場面ですが、より言葉での関わりが深く出来るようになったと思った瞬間でした。Cちゃんは何度も仲間に入れてくれないBくんに対して「もう3才なんだから・・・」という言葉で伝えようとしてしました。BくんはAくんと2人きりで遊びたかったのかも知れませんが、それでもCちゃんを受け入れ一緒に遊べたことは、Bくん自身の中での葛藤を乗り越えた瞬間であり感動しました。改めて日々の生活の中で子ども自身がお兄さんお姉さんになりたい気持ち、譲れない気持ち、甘えたい気持ちなど様々な気持ちが入り混じってその葛藤を乗り越えていくんだなと思いました。

